

みやざき No. 275

〒880-0303
宮崎市佐土原町東上那珂16500-2
TEL : 0985-74-3850
FAX : 0985-74-3950
http://www.mepo.or.jp令和7年度2号
令和7年3月1日発行

機構トピックス

令和6年度「宮崎中小企業大賞」に宮崎県次世代リーディング企業の株式会社ワン・ステップが選ばれました！



▲宮崎中小企業大賞 表彰式（令和6年10月23日）
於：宮崎県庁本館知事室）
左から(株)ワン・ステップ 山元 洋幸社長
河野 俊嗣宮崎県知事、同じく受賞された神崎建設工業(株)
神崎 雄一郎社長



▲エアー注入式大型遊具



▲動物用手術台「ここでもオペ」

県内産業の振興や地域経済の活性化に寄与した企業を県が表彰する令和6年度「宮崎中小企業大賞」に、宮崎県次世代リーディング企業として機構が伴走支援している株式会社ワン・ステップが選ばれ、令和6年10月23日（水）、県庁本館の知事室において表彰式が行われました。

同社は、エアー注入式大型遊具を中心にイベント遊具のレンタル・企画販売を行っており、豊富な商品数とスピーディーな商品開発で800点以上の商品を揃え、年間50アイテム以上の新作をタイムリーに投入しています。また、エアー技術を活かして、コロナ等感染者を隔離する「エアー式簡易陰圧室」や、動物用手術台「ここでもオペ」（動物医療）、「転落事故防止マット」（建設資材）など、医療や防災等の新分野における商品開発も積極的に行っています。これら「新技術・新分野進出の視点」における取組が高く評価され、今回の受賞となりました。

ニッチな分野でナンバーワンとなることにチャレンジし続ける同社のさらなる成長が期待されます。

宮崎フードイノベーションクラブを設立!

当機構ではフードビジネス振興のため、令和6年11月20日（水）にキックオフセミナーを開催して「宮崎フードイノベーションクラブ」（以下「イノベーションクラブ」）を創設しました。

◇設立の趣旨

「みやざきフードビジネス相談ステーション」（以下「ステーション」）は、平成25年に開設されて以来、年間1,500件以上の相談に対応しており、相談者の多くは小規模事業者ですが、今後、宮崎県の食料品製造及び飲料等出荷額をさらに増やしていくためには、中規模の事業者の相談に対応し課題解決を図り、売り上げ増加に繋げていく必要があります。

一方、食品業界は、消費者の安全と健康を守るために高い品質基準を維持することが求められていますが、製品の品質を確保するための重要な役割を担っている品質管理担当者にとって、企業間の情報交換やネットワーキングの機会が限られているのが現状です。

このようなことから、品質管理担当者同士が企業の垣根を越えて知識や経験を共有し、相互にサポートし合うことによりイノベーションが創出できるコミュニティとして「宮崎フードイノベーションクラブ」を設立して、企業間連携を強化するとともに、中規模の事業者に対するステーションの関りを深め、課題発掘から課題解決に至るサポート体制を強化するものです。

◇キックオフセミナー

キックオフセミナーにおいては、始めにステーションの諏訪園哲哉コーディネーターが設立の趣旨等について説明を行った後、山下MCSコンサルティング代表、法政大学経営大学院特任講師の中小企業診断士 山下理夫氏が「生成AIをもっと身近に！品質管理の業務を改善しスキルも磨く」と題して講演を行いました。

講演では、山下氏の指導のもと参加者が実際にスマホを使って生成AIの簡単な操作を行い、初めて生成AIに触れる参加者が多いにもかかわらず、熱心に取り組まれました。

その後、グループに分かれて職場での課題等について意見交換を行いました。

イノベーションクラブでは、今後とも、参加する企業間の連携及びステーションとの関係が深められるよう交流会やセミナー等を開催してまいります。

入会はいつでも受け付けていますので、下記によりお問い合わせください。

（参考：令和7年1月現在の加入者
企業19企業37名、オブザーバー4機関10名

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
フードビジネス推進課（担当：柚木崎、野間）
電話：0985-89-4452
メール food@mepo.or.jp



イノベーションクラブの設立趣旨等について説明する諏訪園哲哉コーディネーター



「生成AIをもっと身近に！品質管理の業務を改善しスキルも磨く」と題して講演する山下理夫氏



スマホでの生成AIの操作



グループに分かれての意見交換

産学官の共同研究を推進します!! ～「みやざきイノベーションマッチングフォーラム」開催～



企業が持続的に成長し、競争力を維持するためには、「研究開発」は欠かせない要素です。研究開発の成果から生まれた新しい製品やサービスが他社との競争において優位となることはもちろん、新技術の開発や工程・手順の改善により生産効率や品質管理が向上し、収益性の向上にも寄与します。

このようなことから当機構では、県内中小企業が持つ課題を、大学等との共同研究開発を通じて解決する産学官連携の取組を推進しており、その一環として、県内産業廃棄物の排出抑制やリサイクルの促進等を目的とした「みやざきイノベーション・マッチングフォーラム」を開催しました。

フォーラムでは、まず株式会社SUNAO製薬・代表取締役の廣澤直也氏が「地域の”もったいない”を価値あるものへ～産学官連携による付加価値づくり～」をテーマに講演。宮崎大学がブルーベリー葉に関して長年研究を重ねてきた成果や知見を基に商品を開発した際のエピソード等を語っていただきました。

次に、宮崎大学工学教育研究部の菅本和寛准教授から「廃棄・未利用植物成分の有効利用」、さらに、同大学工学教育研究部の井澤浩則教授から「鶏冠（とさか）から得られる新素材」について、2件の興味深い研究成果の発表がありました。

同フォーラムでは、発表のほかに、県内中小企業と大学等をマッチングさせる個別面談会も実施しました。事前に、研究開発に取り組んでいる、または取り組む可能性がある県内中小企業576社を対象にアンケートを実施し、企業ニーズの掘り起こしを行いました。その結果、面談会には4社が参加し、自社が考えている解決したい課題や構想等について、大学・支援機関と活発な意見交換が行われました。この面談をきっかけにマッチングが成立し、研究開発に取り組み、事業化に成功した事例もあります。

当機構では基本理念である『みやざきの次代を担う企業を支援』するため、より多くの企業に研究開発に取り組んでもらえるよう、今後も、取り組んでいきたいと考えています。

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
新事業支援課
電話：0985-74-3850

ものづくりの喜びを。 体験型シェア工房 ツクレタの誕生

担当：柳本明子サブチーフコーディネーター

体験型シェア工房 ツクレタ

〒880-2112 宮崎市小松受別府268-1

電話：0985-71-4011



事業主と事業所

さらに、ホームページやInstagramなどの広報にも力を入れ、開業2年目ながら、ワークショップは月40件、累計の参加者は2,000名を突破。ここでも、コーディネーターの懇切なアドバイスの成果が表れています。



よろず支援拠点での相談風景



中小企業庁
宮崎県よろず支援拠点



成果が出るまで
徹底的にサポートします！

お気軽に
ご相談下さい！事前
予約制相談
無料

ワークショップ

よろず支援拠点との出会いは3年前です。全く具体化していない段階から、工房オープンまでの1年半、構想の可視化や広報戦略など、課題ごとに適切なアドバイスをいただくことができ、無事に事業化することができました。

次のステージへ向けての相談もさせていただいています。継続的な支援に感謝しています。

代表者 増田ゆかり

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構

経営情報課

電話：0985-74-3850

ブラッシュアップ補助金で支援した商品が FOOD AWARDで高評価を得ています!

ステーションでは、本県の農林水産物を活用した商品の開発・改良のための費用をMIYAZAKI FOOD AWARDへの出品を条件に、フードビジネス商品開発・ブラッシュアップ支援事業補助金により支援しています。支援した商品の中から、2024 AWARDの最終審査に残るなど高評価を受けた2商品を紹介します。

「焼き栗きんとん」 期間限定販売です!!

洋菓子工房プチパリ(河野フーズ) 〒886-0112 小林市須木下田1374-1
電話：0984-48-2137



お客様の「栗のトップブランドと言われる須木栗をまるごと味わいたい」との声から開発。須木栗を砂糖のみで練りあげた栗きんとんで焼き栗の香ばしい香りと優しい甘さを丁寧に包み、さらに焼き上げた、贅沢な栗菓子です。9月～2月の期間限定の販売ですが、須木栗だからこそ味わえる素朴で贅沢な味。秋を感じていただけたらいいと思います。

(工場長 前原 宏美)



地元須木産や県産の季節の食材を生かしたスイーツを次々に開発されている洋菓子店です。今回、商品の食品表示を検討される際に、法令等の情報提供や判断にあたっての助言などを行いました。

(担当コーディネーター 大角 恭代)

※令和6年度ふるさと食品中央コンクール 賞受賞

水揚げから加工まで90秒! 「日向歌沙(ひなかさ)」ちりめん3種ギフト

株式会社日高水産 〒882-0853 延岡市方財町76-3 電話：0982-35-6424



延岡市方財町にある、機船船曳網(きせんふなびきあみ)をはじめ80年以上のしらす(ちりめん)専門水産加工会社です。宮崎の海の恵みをダイレクトにお客様にお届けしたいと、漁獲から加工・製造までをすべて自社で行っています。鮮度を感じていただきたいとの思いから「水揚げから加工まで90秒」のギフトセットを新たに開発しました。乾燥度合いを変えることで食感や風味の違う3種類のちりめんをお楽しみいただける商品になっています。

(社長 日高 慎太郎)



商品開発に、県内デザイナーや県の水産試験場に協力をいただきました。すでに、ふるさと納税の商品に登録されていますが、さらに販路等の出口戦略に取り組み「みやざきちりめん」の魅力を伝えていってほしいと思います。

(担当コーディネーター 諏訪園 哲哉)

お問い合わせ先

みやざきフードビジネス相談ステーション 電話：0985-89-4452

ものづくり取引拡大商談会で新たな取引先を開拓!

マツタ工業 株式会社

〒882-0007 延岡市桜ヶ丘3丁目7094-2
電話：0982-21-1233



11月28日と29日の2日間、MRTミックでものづくり取引拡大商談会を開催しました。

この商談会は県外の発注企業と県内の受注企業が一堂に会して商談を行い、取引拡大を図る目的で毎年実施しています。

今回の商談会にはコロナ禍以降最多の21社の発注企業と49社の受注企業が参加し、235商談が行われました。

延岡市のマツタ工業は、金型製作をはじめ大型産業機械、プラスチック樹脂製品加工、CADを使った設計や3次元製品モデリングや機械保全業務を得意とする会社で、当日は、新たな取引先を求めて多くの発注企業との商談を行うとともに、県内企業とも積極的に情報交換を行っていました。

当機構では、今後とも商談会の開催をはじめとして多様な取引あっせん活動を行い、本県のものづくり企業を支援していきます。



▲ マツタ工業の商談の様子

この商談会は、自分たちでは直接会うことのできない発注企業と面談ができる貴重な機会となっている。

今回の商談を新たな取引先の獲得につなげていきたい。

マツタ工業(株)

代表取締役社長 松田 佳久

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構 産業振興課
電話：0985-74-3850

新工場建設に向け、県内工場視察を支援!

株式会社ハニー

〒880-2211 宮崎市高岡町花見1720番地5
電話：0985-82-5582



▲業界トップシェアを誇る「氷みつ」



▲warocca（ワロッカ）を近年新たに発売

清涼飲料水（かき氷用氷みつ等）、加工食品（ポップコーン・綿菓子関連原料、シーズニング等）、プラスチック成型品、カーケミカル品を軸に関連商材の製造・販売を全国へ展開している同社。特に「氷みつ」については業界トップシェアを誇っており、近年では「飲んだ気になる、ノンアル」がコンセプトの本格ノンアルコールベースシロップ「warocca（ワロッカ）」を新たに発売しました。また、運営する店舗「パオワールド」では県内の飲食業を中心とした事業者向け業務用品の販売も行っています。

今回、同社から、事業拡大のために建設を予定している新工場の設備や衛生管理等に関する相談があり、機構内のフードビジネス相談ステーションと連携して、県内食品関連企業2社の工場と宮崎県食品開発センター「フード・オープンラボ」の視察を企画。視察には担当者に加え社長が参加し、関係者との意見交換も行いました。工場内の機械設備の配置や動線などについて様々な気づきがあり、新工場建設に向け、有意義な視察となりました。

当機構では、宮崎から全国へ「おいしい・うれしい・たのしい」を提供するために尽力し続ける同社を引き続き支援してまいります。

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
企業成長促進室
電話：0985-77-5563



▲企業視察



▲「フード・オープンラボ」視察

この度は工場2社と食品開発センターのラボの視察をさせていただきました。関係者に感謝申し上げます。

弊社の新工場建設に向けて抽出した課題をクリアにすることができました。親切なご案内と的確な回答で学びの多い視察でした。また、改めて企業間交流も生まれ、同じ宮崎県内の食品製造事業者同士での相乗効果も期待できると感じました。

(株)ハニー

代表取締役社長 三棹 健只

県内製造業の脱炭素に関する取組を伴走支援することにより、見本となるロールモデル企業の創出を目指す！

令和6年度から当機構では、脱炭素の取組を促進する県内製造業者を「脱炭素推進モデル企業」として選定し、エネルギー使用に係る現状把握から削減計画の策定、計画に基づく具体的な取組までを伴走支援することで、見本となるロールモデル企業の創出を目指しています。

伴走支援では宮崎県が進める「2050年ゼロカーボン社会づくり」の実現に向けて、県内製造業におけるGX（グリーントランスフォーメーション）の取組を促進することを目的に、当機構と連携協定を締結したリコージャパン株式会社宮崎支社と協働して支援を行っています。今年度は脱炭素推進モデル企業に3社を選定しました。

脱炭素推進モデル企業のうち、今回は株式会社モリタに対する伴走支援の概要を紹介します。

企業名：株式会社モリタ

企業概要：①樹脂成型、品質管理、組立、検査から物流体制まで整備
②自動車及び航空機部品等の製造、食品加工機械の組立
③R6に新工場を増設し、より一層事業の多角化を推進

支援内容：

9月 初回打ち合わせ、事前ヒアリング

10月 省エネ診断

設備投資による省エネのほか、空調や照明等について既存設備の運用による省エネ方法がないかなど、1日かけて診断

11月 省エネ診断の結果報告

◎投資省エネ 既存エアコンの更新や空調の自動制御など

◎運用省エネ 空調や装置等のフィルター清掃、集塵機のファン回転数の最適化など

◎投資及び運用による施策案計29項目を提案

省エネ診断で得られた結果をもとに、削減計画の策定や計画の実行に向けて、リコージャパン株式会社宮崎支社と当機構の中小企業診断士を含む支援チームが一体となって、引き続き伴走支援していきます。

脱炭素推進モデル企業一覧

(五十音順)

企業名	業種	所在市町村
(株)サニー・シーリング	印刷・同関連業	都城市
(株)山洋製作所	輸送用機械器具製造業	宮崎市
(株)モリタ	輸送用機械器具製造業	宮崎市



▲初回打ち合わせ



▲省エネ診断（集塵装置）



▲省エネ診断（デマンド監視装置）

省エネ診断の結果には大変驚きました。ご提案いただいた項目には、投資をほとんど必要としない運用面の改善も多かったです。

今後は削減計画の策定に向けて、実行の可否を検討し、優先順位を決め、着実に進めていきたいです。

株式会社モリタ

総務課長 中山 恵理

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
企業成長促進室
電話：0985-77-5563

デザインセミナー・交流会を開催しました!!

食品事業者及びその商品開発に関わるデザイナーを対象に、加工食品の特性、容器包装の機能性及び食品表示等に関連付けながらパッケージデザインに関する知識情報を提供するとともに、両者の交流を図るためのセミナーを開催しました。

1 期日 令和7年2月18日（火）

2 参加者 61名（食品事業者26名、デザイナー15名、その他20名）

3 セミナー内容

(1) 講演会

「成功する食品パッケージの鍵：デザインと包装機能の視点から探る」

講師：川村デザイン 代表 川村将久 氏

(2) 表示セミナー

「デザイナー＆食品事業者が知るべき食品表示のポイント」

講師：みやざきフードビジネス相談ステーション コーディネーター 大角恭代
// 藤藪志保

(3) 交流会

名刺交換、フリーディスカッション等



講演会

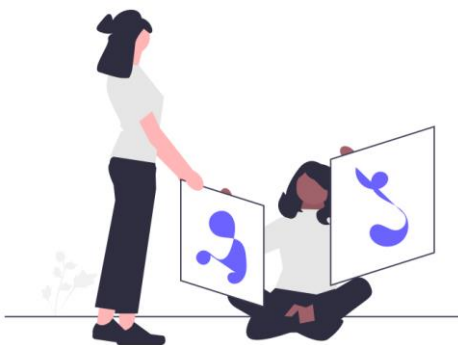


食品表示セミナー



交流会

デザイナーズバンクのご紹介



みやざきフードビジネス相談ステーションでは、食品加工品・青果物のパッケージデザイン、店頭販促品などのデザイン、食品に添付するリーフレットやウェブなどのデザインを行うデザイナーや企業を「デザイナーズバンク」として登録し、当ステーションへの相談事業者に対して紹介するとともに、宮崎県産業振興機構のホームページで公開しています。

これらのデザインを導入しようとお考えの県内企業や事業者の皆さん、是非ご活用ください。

※デザイナーズバンク登録リストはこちら
<https://www.mepo.or.jp/shiensaku/702.html>



また、「デザイナーズバンク」への登録を希望されるデザイナーさんやデザインを行う企業さんは、下記の問い合わせ先までご連絡ください。登録の申し込み方法等をご説明します。

お問い合わせ先

みやざきフードビジネス相談ステーション
電話：0985-89-4452 担当：藤崎
E-mail：food@mepo.or.jp

企業の人材育成に関する支援

企業経営力アップ人材育成支援事業

中小企業者



助成対象

中小企業の経営管理能力や技術力の向上を図るため、県内の中小企業の経営者や従業員の皆様が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合、必要な経費の一部を助成しています。

また、都市部に行くことなく、高度な人材育成プログラムを受けることができる「ひなたMBA」及び中小企業大学校人吉校の研修活用を推奨し、優遇枠を設けています。

※ 限られた予算の中、より多くの企業に利用していただくため、令和7年度から次のとおり助成上限額を見直します。

1 研修等参加事業

企業の従業員等の経営管理能力や技術力の向上を図るため、公的機関やセミナー・研修等を業とする民間企業等が実施する専門的な研修等へ参加する場合

助成対象経費	受講料、参加費、負担金、県内旅費
助成率	1/2以内 ※賛助会員 2/3以内
助成上限額	5万円 ※賛助会員 10万円 ひなたMBA等 15万円 (賛助会員のみ)

※ひなたMBA等：ひなたMBA等及び中小企業大学校人吉校の研修

2 ものづくり企業技能等向上研修事業

ものづくり企業の従業員等の技能等の向上を図るため、公的機関や研究機関、大学、セミナー・研修等を業とする民間企業等が実施する専門的な研修等へ参加する場合

助成対象経費	受講料、参加費、負担金、県内旅費
助成率	1/2以内 ※賛助会員 2/3以内
助成上限額	5万円 ※賛助会員 10万円 ひなたMBA等 15万円 (賛助会員のみ)

※ひなたMBA等：ひなたMBA等及び中小企業大学校人吉校の研修

3 社内研修・企業間等の連携研修開催事業

生産技術や管理技術等の向上を図るため、専門家を招聘して、社内研修を開催したり、県内企業間もしくは企業と関係機関との連携による研修等を開催する場合

助成対象経費	講師謝金、講師県内旅費、会場借上料
助成率	1/2以内 ※賛助会員 2/3以内
助成上限額	10万円 ※賛助会員 20万円

お問い合わせ先

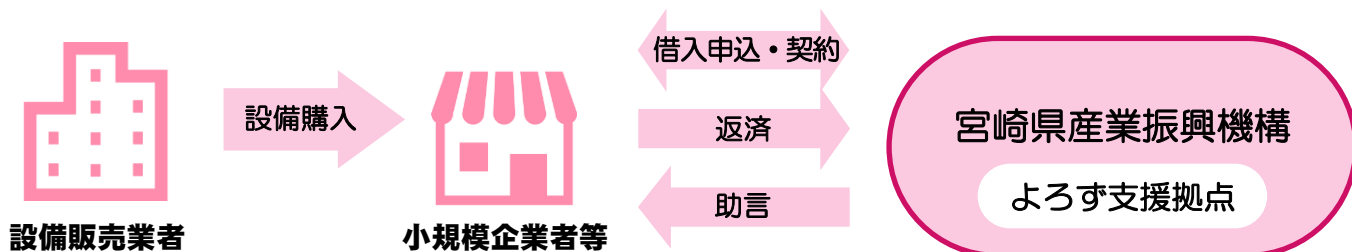
(公財) 宮崎県産業振興機構
産業振興課
電話：0985-74-3850



設備導入に関する融資制度「みやざき設備資金貸付事業」

小規模企業者等の皆様が、経営基盤の強化を図るため、必要な設備を購入される場合、その設備導入資金の一部(1/2以内)について無利子で融資を行っています。(貸付審査会による審査があります。)

なお、貸付申請者には、御希望に応じてよろず支援拠点のコーディネーターが随時助言を行いながら、経営基盤の強化を支援します。



申請対象	県内の小規模企業者等（常用従業員数50名以下）
対象経費	経営基盤強化のために必要な設備（土地・建物は対象外）
償還期間	3年以上7年以内（元金据置は最長6ヶ月、口座振替で毎月決済していただきます。）
貸付額	50万円～2,500万円 「フードビジネス」「メディカル」「自動車」「成長期待企業等」で、一定の条件を満たした場合、上限が3,000万円となります。

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
産業振興課
電話：0985-74-3850

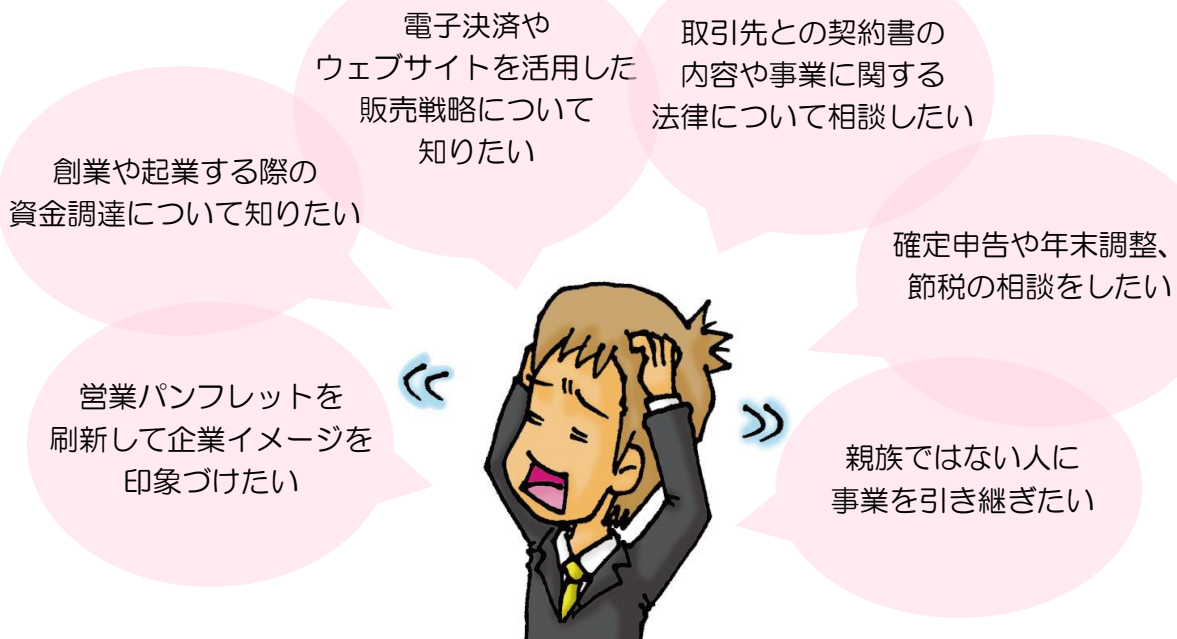


宮崎県よろず支援拠点へどうぞ!

宮崎県よろず支援拠点は、国（中小企業庁）が設置した無料の経営相談所です。中小企業・小規模事業者の皆さんが抱える様々な経営の悩みに対応します。

電話でのご予約はこちら
受付時間 8:30~17:00（平日）

☎ 0985-74-0786



よろず支援拠点ホームページでは、セミナーの開催お知らせやFacebookでの情報発信を行っています。

ホームページから相談予約もできます。ぜひご覧ください。



中小企業庁
宮崎県よろず支援拠点



成果が出るまで
徹底的にサポートします!



お気軽に
ご相談下さい!

事前
予約制

相談
無料



中小企業・個人事業主・フリーランスの皆さん！ 取引上の悩みを抱えていませんか



- 支払期日を過ぎてても代金を支払ってもらえない
- 追加の工事・加工をしたのにその分の代金を支払ってもらえない
- 労務費や原材料費が上昇しているのに単価の引き上げに応じてもらえない
- 一方的に単価の引き下げを求められている
- 書面での発注をお願いしているが応じてもらえないetc

下請かけこみ寺

に相談してみてもいいかもしれません。

相手方との交渉や代金回収の方法などについて知ること、
悩みやトラブルが解決できる場合があります。

「下請かけこみ寺」は、下請取引の適正化の推進を目的に、国（経済産業省）が全国48か所に設置した相談窓口で、本県は宮崎県産業振興機構に設置されています。

あなたの相談には専任の相談員が応じます。相談の内容によっては無料弁護士相談等をご案内します。

悩む前に一度相談してみませんか。



相談のながれ

- 1) 相談専用フリーダイヤルやメールでお問い合わせください。専任の相談員が電話や面談でお話をお聴きし、取引上の問題点・課題等を整理して、必要な助言等を行います。
【相談対応可能日】 月、火、木、金の午前9時から午後5時まで
(ただし祝日等は除きます)
- 2) 法律関係の整理が必要な場合や法手続きについて検討した方がよい場合には、相談者の希望により無料弁護士相談をご案内します
(ただし匿名での相談は受けられません)
- 3) さらに調停による解決を希望される場合には、下請かけこみ寺本部（（公財）全国中小企業振興機関協会内）が実施するADR（裁判外紛争解決手続き）をご案内します。



下請かけこみ寺 にご相談
ください!

相談専用フリーダイヤル
相談専用メールアドレス
所在地

0120-418-618
soudanmoushikomi@zenkyo.or.jp
宮崎市佐土原町東上那珂16500-2
（公財）宮崎県産業振興機構
☎ 0985-74-3850

公益財団法人
宮崎県産業振興機構
みやざき
フードビジネス
相談ステーション

相談無料
事前予約制

オンライン
OK!

食

に関するお悩み まるごと 解決



相談体制



事業計画
資金調達



商品開発
衛生管理



食品表示
デザイン



マッチング
販路開拓

専属コーディネーター

+

各種 専門家

+

支援機関

と

連携を図りながら課題解決に向けてサポートします

6次産業化に取り組む生産者の皆さま



農山漁村発
イノベーション
サポート事業

多種多様な専門業種との連携を求める事業者の皆さま



みやざきローカルフード
プロジェクト強化事業

各種 専門家

●アドバイザー ●プランナー

関係支援機関

●試験研究機関 ●大学

デザイナーズバンク

●県内の登録デザイナー

相談の流れ

1

※要予約

電話で予約

相談内容を簡単にお知らせください。初回の相談日を調整します。

2

面談又はオンライン

担当コーディネーターが、現状から目標達成のための課題を導き出し具体的なアドバイスをを行います。

3

伴走支援

担当コーディネーターと共に、課題解決に向けた取り組みを行っていきます。

ワンストップの相談窓口としてご活用ください

お問い合わせ

みやざきフードビジネス
相談ステーション

TEL

0985-89-4452

月曜日～金曜日 (8:30-17:15 / 12:00-13:00) 及び祝日は除く



みやざきフードビジネス相談ステーション



充実のサポート内容

商品化への流れに応じて必要なアドバイスを行います

まずは、
お電話ください
相談無料
事前予約
オンラインも
OK!

必要な
アドバイス

基本的な商品化への流れ			
①リサーチ	②企画・立案	③商品化	④生産・販売
調査方法	アイデア出し/商品開発 事業計画/資金調達	加工技術/衛生管理 食品表示/デザイン	マッチング/販路開拓
マーケットインの視点 による商品化へ向けた 基本的な考え方や、調 査方法、具体的な取り 組み方について助言。	販売戦略を踏まえた新 商品開発や、新規事業 に取り組むための事業 計画の確認。資金調達 先として国や県等の補 助事業の紹介。	食品加工に取り組むた めの、一連の流れや衛生 管理、食品表示、商品化 へ向けたデザインの考 え方。県内の委託可能な 食品製造業者の紹介。	商品内容、生産量等の確 認。商談会・求評会の紹 介と商談に必要な書類 や交渉の進め方につい て助言。

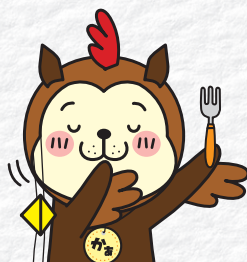
..... 相談会の開催や必要に応じた専門家の派遣も行っています

食品表示 相談会	企業訪問	専門家の派遣	デザイナーズバンク
毎月第三木曜日に食品 表示無料相談会を開催し ています。(要予約) 既存商品の表示見直し や、新商品の表示など、 ご相談ください。	担当コーディネーターが 現場を確認しながら相談 対応することも可能です。 (対象:宮崎県内全域)	各種相談内容に応じ、コ ーディネーターと共に専 門アドバイザーを派遣し ます。	宮崎県内のデザイン・印刷 会社及び個人デザイナー の登録バンクがあります。 希望される方への情報提 供も行っています。

当ステーションのHP、Facebook、メールマガジン（産業振興機構）

支援事例やセミナー、補助金公募案内などの情報を発信

ホーム
ページ



フードビジネス相談ステーション 検索

フェイス
ブック



公益財団法人 宮崎県産業振興機構

みやざきフードビジネス相談ステーション

TEL 0985-89-4452 FAX 0985-89-4468

相談対応時間 月曜日～金曜日(9:00-17:00/12:00-13:00及び祝日は除く)

✉ food@mepo.or.jp

〒880-0811 宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンスフィア番館(KITENビル)3F
(お越しの際は、最寄りの有料駐車場または公共交通機関をご利用ください)

農山漁村発イノベーションサポートセンター
みやざきLFP事務局

